

■直轄高知海岸新居工区 堤防耐震・液状化対策事業起工式を実施  
黒潮町への太田国土交通大臣の視察について

【高知河川国道事務所・中村河川国道事務所】

1月24日（日）午前10時50分より直轄高知海岸新居工区堤防耐震・液状化対策事業起工式を開催しました。

当日は、土佐市新居の新居緑地公園広場において、高知河川国道事務所の主催で行われ、国土交通大臣、高知県知事、地元選出国會議員、土佐市長、地元関係者及び工事関係者など約150名の方々にご出席いただきました。

起工式は、太田国土交通大臣の挨拶で始まり、御来賓からの祝辞、高知河川国道事務所長の事業概要説明、祝電披露に引き続き、来賓と地元の土佐市新居小学校6年生とによる、はつぐわとくす玉開披の後、土佐南中学校吹奏楽部の皆さんによる記念演奏が行われ、事業の無事完成を祈念しました。

式典終了後は、太田大臣の会見が行われ、最後に、式典に参加していた小中学生と大臣、高知県知事及び土佐市長との記念撮影が実施されました。大臣は撮影後も小中学生と和やかに交流されました。

本事業は、海岸堤防の耐震化と地盤の液状化対策を行うものであり、地震・津波対策として大きな効果を発揮するものと確信しております。今後とも地元の安全安心を守るため、着実に事業を推進して参りたいと考えております。

同日、引き続き、南海トラフ巨大地震による日本一の最大津波高さ34.4mと想定された黒潮町を視察されました。

最初の佐賀中学校では、黒潮町長より、津波浸水深が1.6mで校舎3階を上回ることや、校舎が30cm浸水するまでの時間が30分と想定されており、避難時間確保が喫緊の課題であるとの説明を受けられました。

次に役場佐賀支所屋上に移動し、海に面した佐賀地区全体を見られた後、大臣、町長、県選出国會議員他関係者による意見交換会が行われました。

意見交換会では、「高台までの避難時間の確保」、「信頼性の高い高規格道路の整備」等について議論されました。

続いて、最後の視察場所となる北郷地区に移動し、地元の方より、過疎化・高齢化が進む中、地域の将来のため頑張っている状況を熱心に聞かれておりました。

又、視察の最後には大臣との交流を楽しみにして集まられた、地元のお年寄りや子供達約20名と記念撮影を行ったのち、地元の皆様に見送られ北郷地区を後にされま

した。

四国地方整備局としても「四国地震防災基本戦略」の施策を、関係する47機関、地域の皆様と一体となって進め、四国における総合的な防災力の向上に向けて全力を挙げて取り組んでいきたいと考えております。

■巨大地震の被害を予想し、地域住民が自らどのような行動すれば被害が少なくなるかを考えます。

～『DIGファシリテーター養成講座 in 奈半利町』の開催～【企画部 防災課】

高知県安芸郡奈半利町において災害図上訓練（DIG:Disaster Imagination Game）のファシリテーター養成講座を開催しました。

DIGとは、大きな地図を参加者全員で囲み、一緒になって災害への対応策を考えるイメージトレーニングのことです。

当日は、講師に、常葉大学社会環境学部小村隆史准教授をお招きし、高知県奈半利町、田野町、安田町在住の自主防災組織等の防災関係者で行いました。

参加者からは、「将来的に町を残すためにも高台移転等を考える必要を感じた。」「現役世代や子供世代を加えた取組拡大が重要と感じた。」「人材育成、意識の継続が重要であると感じた。」等の意見がありました。

今後も地域防災力の向上を目的に各地域にて開催していきたいと考えております。

■「しまなみ海道」周辺地域の「道の駅」活性化に向けた意見交換会の開催について  
【松山河川国道事務所】

松山河川国道事務所では、11月26日（火）に、今治商工会議所において、『「しまなみ海道」周辺地域の「道の駅」及び地域の活性化等について意見交換会』を実施しました。

意見交換会には、「今治湯ノ浦温泉」を始めとした7つの「道の駅」の運営者、今治市等の設置者、愛媛県や本四高速等の道路管理者、今治明德短期大学、今治市観光協会等の産・官・学の関係者約50人が参加し、活発な意見交換がなされました。

事務局からは、サイクルスタンドの設置や「道の駅」を巡ってソフトクリームを食べ比べてもらうスタンプラリーの実施（案）等を提案しました。

また参加者からは、「トイレの数が不足している」や「島の歴史、文化、食等の情報発信をお願いしたい」「地元団体としては、道の駅との連携は強い武器である」等多くの意見が出ました。

次回の意見交換会は、今年度中に開催する予定です。

#### ■一般国道55号 阿南道路が部分開通

（阿南市津乃峰町西分～阿南市橋町大浦 L = 1.7 km） 【徳島河川国道事務所】

徳島河川国道事務所が整備を進めてきた「一般国道55号 阿南道路」のうち、阿南市津乃峰町西分～阿南市橋町大浦間の延長1.7 kmが暫定2車線で完成し、平成25年11月2日（土）の午後3時に開通しました。

当日は、午前9時30分より橋小学校において、徳島県、阿南市、徳島河川国道事務所の主催で開通式典を執り行いました。式典には、国会議員、徳島県知事、阿南市長及び関係者など約160名の方々にご出席いただきました。

式典では、はじめに徳島県知事、阿南市長より主催者挨拶がされ、続いて、来賓の方々より祝辞をいただき、三浦局長からは「本日を迎えることができたのも、貴重な用地を提供頂いた地権者の皆様をはじめ、ご来賓の方々、地域住民の皆様並びに関係機関の皆様からの多大なる支援・ご協力の賜と心から感謝を申し上げます。」との事業者挨拶がされ、その後、事業経過報告、祝電披露が行われました。

開通式典がつつがなく閉式した後に、開通区間の起点側に移動して行われたセレモニーは、地元ゆるキャラのすだちくん（徳島県）とあななん（阿南市）も参加し、阿南第二中学校ジャズブラスバンド部による演奏が流れる中、津乃峰小学校と橋小学校の生徒さん及び津乃峰保育所と橋こどもセンターの園児さんに参加いただき「テープカット・くす玉開披・風船とぼし・開通式記念パレード」、地域の皆様方の「通り初め」、また阿南市による「餅投げ」も行われました。

今回の開通で通過交通が供用区間に転換することにより、並行する国道55号の歩行者や自転車利用者の安全性が向上すると考えております。また、阿南道路 那賀川大橋周辺の渋滞解消のための、引き続き4車線化工事も推進していきます。